

創立70周年を祝って

2026年
1/29

町女性団体連絡協議会
新春のつどい

町女性団体連絡協議会の創立70周年記念式典を兼ねた新春のつどいが社会福祉センターで開催されました。式典では、主催者を代表して、池田昭子会長が「これからも先輩方を敬い、そして学び町づくりに貢献していきたい」とあいさつしました。また、創立70周年を記念した祝宴では、来賓の町連合町内会の染谷仁也会長が乾杯の発声を行い、参加者は交流を深めました。



町連合町内会の染谷会長の発声で乾杯をする参加者

資源エネルギー庁

2026年
1/26

「地熱政策」講演会

経済産業省資源エネルギー庁の職員を招いた特別講演会が、掘削技術専門学校で開催されました。講師は同庁の資源・燃料部の永井岳彦課長が務め、「エネルギー政策を巡る動向について」と題して、日本や世界のエネルギーの現状などについて説明しました。また、日本に必要な資源である化石燃料、鉱物資源、脱炭素資源についての国の取り組みなどを紹介しました。



「資源などの安定供給には掘削技術が不可欠」と話す永井さん

自然の番人宣言

2026年
2/12

ポスターコンクール表彰式

釧路管内の市町村が共同で実施する「自然の番人宣言」ポスターコンクールの表彰式が役場で行われました。同コンクールは、釧路管内から63点の応募があり、町内では、以下のとおり6人が佳作に選ばれました。森末奏さん（庶路学園8年）、秋保真心さん（白糠学園8年）、石川七海さん（同）、今井宏子さん（同）、佐々木まこさん（同）、吉村咲さん（同）



表彰状を手に受賞を喜ぶ学生たち

スポーツで健康づくり

2026年
1/30

エンジョイスports教室

エンジョイスports教室が27日と30日の2日間にわたって開催され、延べ40人がゲートカーリングと北欧発祥のスポーツ「モルック」を楽しみました。30日はモルックが行われ、試合の終盤には一投ごとに大きな歓声上がるなど、盛り上がりを見せていました。畑野満子さんは「思ったところになかなか行かないけれど面白いです」とプレーを楽しんでいました。



狙い通りにピンを倒した参加者

地域で高める防災力

2026年
1/23

連合町内会活動研修会

白糠町連合町内会の活動研修会が社会福祉センターで開催され、町内会長など約40人が参加しました。研修では、町と災害協定を結ぶ「ピースウィンズ・ジャパン」の木下真由香さんから、能登半島地震による避難所の様子を聞きました。木下さんは「防災初期の避難所には役場職員もいないので、避難者同士で助け合うためにも日頃から地域での交流が大切」と話していました。



「避難所生活は想像しているよりも過酷」と話す木下さん

西庶路千鳥町内会女性部

2026年
1/21

リングプル寄贈

西庶路千鳥町内会女性部が、地域で集めたリングプル10kgを町社会福祉協議会へ寄贈しました。この日は、坂本紀美子部長と佐藤美根子副部長が保健センターを訪れ、リングプルを同協議会の岸本秀彦会長へ手渡しました。坂本部長は「多くの方の協力に感謝しています。今後も継続していきたい」と話し、岸本会長は「大切にさせていただきます」と感謝していました。



リングプルを手に左から佐藤副部長、坂本部長、岸本会長

町内での就業を後押し

2026年
1/25

合同企業説明会

町商工会の会員企業による合同企業説明会が白糠振興センターで開催され、それぞれの企業が自社の紹介を来場者に行いました。説明会は仕事を探している人と人材を求めている企業のマッチングイベントで、町内の建設業や林産業など7社が参加。今回の説明会には11人が来場し、企業の説明に真剣に耳を傾けていました。



企業ブースで自社紹介を行う担当者

白糠では初開催

2026年
1/24

ノルディック
ウォーキング体験会

フィンランド発祥で、2本のポールを使ったウォーキングである「ノルディックウォーキング」の体験会が総合体育館で開かれ、町民13人が参加しました。インストラクターの鞘野紳量さんの説明と実技指導の後、参加者はポールを使ったウォーキングを楽しみました。高橋教子さんは「初めは難しかったのですが、慣れてくると、とても楽しかったです」と話していました。



「ポールを使うことで転倒予防にもなる」と話す鞘野さん